



自動化が困難な業種だからこそ 今の環境で売上を上げる

only 1 オンリーワン企業
company



👑 AOS 株式会社

昭和59年に「株式会社秋田オイルシール」として創業、平成30年にグローバル化を見据えて現在の社名に変更したAOS株式会社。昨年3月、代表取締役社長に就任した村岡一彦さんと専務取締役の石黒盛さんに同社の事業についてお話を伺った。



代表取締役社長 **村岡 一彦**
〒018-2304
山本郡三種町豊岡金田字堀切126-1
TEL. 0185-72-4141
FAX. 0185-74-5903
<http://www.akita-aos.com/>



HP

Oリングやオイルシールなどのゴム製品 その設計・製造・販売を一貫して行う

三種町に本社兼工場を置くAOS株式会社。このほか二ツ井工場、にかほ工場、ベトナム工場があり、工業用ゴム製品を設計・製造・販売している。同社で製造している製品の用途は多岐にわたるが、主力製品は、Oリングと呼ばれる部品と部品の隙間を埋め、外部への漏れや流入を防ぐ役割を持つもので、大きさも幅広い。加えて、その部品を必要とする製品がこういった用途で、どのような環境で使われるのかも千差万別だ。

「当社ではさまざまなオーダーに合わせ、製品に使用するゴムや配合薬品を調整しています。現在、製造する製品は14,000種類ほど。材料としては500種類以上を組み合わせ、自社でレシピを設計しています。当社の製品が使われる分野は自動車関係から環境・エネルギー関係、化粧品など多岐にわたっており、最終製品として使われる用途に応じた調査を行っています。」と専務の石黒さんが教えてくれた。

長年の小さな改善と努力の積み重ねこそ 良いモノづくりと顧客満足に繋がる

入社以来、製造に関わってきたという代表取締役社長の村岡さん。少量多品種に対応できるという強みは、サイズやアイテムが多すぎて自動化の障壁ともなっていると話す。

「検査工程には自動検査機を導入して省人化することはできましたが、製造工程の自動化は難しい。一方で当社では30年ほど前から、『QC発表会』を行っています。全社員がチームを組み、課題を見つけ、作業効率向上の取組について発表するものです。」

従業員の減少に伴い、今いる社員でどう売上を上げることができるかを模索した結果、生産量は増え、売上も向上。村岡さんは、発表会を通じて全社員が知恵を絞り、工程の改善を重ねてきた結果だと受け止めている。

「長年にわたる小さな改善の積み重ねは、良いモノづくりの精神の礎となり、技術向上に繋がった。これからもクライアントを満足させる製品づくりに尽力していきたい。」と村岡さんは意気込みを語ってくれた。唯一無二の技術力は、社員の創意工夫と真摯な取組が支えている。



同社が製造する製品のサンプル。



ゴムの製造工程。並べたゴムを圧縮することで成形していく。



小サイズの製品は光学式自動検査装置で検査を行う。